



JPTA



NEWS

2025.2

vol.353

第60回 —— 世界理学療法連盟学会 連続開催！ 2025 —— 日本理学療法 学術研修大会

世界理学療法連盟学会
連続開催！
2025



TOKYO



会報誌「JPTA NEWS」へのご意見・ご感想を募集しています。

右記のQRコードを読み取り、アンケートフォームからご回答ください。



【特集】

第60回 日本理学療法学術研修大会

総合知を推進する臨床技能 -社会的課題の解決を目指す-



今年で60回目を迎える日本理学療法学術研修大会は、60周年記念事業の一環として、日本理学療法士協会が運営します。運営にあたり、全国8ブロックから集まった準備委員が**ALL JAPAN**を掲げ、準備を進めています。総合知というテーマには、さまざまな世代、背景や指向を持ったたくさんの方々に参加してもらいたいという齊藤大会長の願いが込められています。新たな歴史を刻むこの特別な大会に、あなたも参加してみませんか？

日時 2025年5月31日(土)～6月1日(日)

※大会期間の終了後、当該大会に登録した者を対象に一定期間（約1～2か月）を設けてオンデマンド配信を実施します。

会場 東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

参加費

【会員】対面参加：8,000円（オンデマンド配信視聴可能）／オンデマンド配信：8,000円
 【非会員】対面参加：25,000円（オンデマンド配信視聴可能）／オンデマンド配信：25,000円
 【学生】オンデマンド配信のみ：無料

※金額は税込です。



参加登録受付開始は3月下旬を予定しています。

MESSAGE

日研開催へ向けて 「総合知を推進する臨床技能」 とは

齊藤秀之 大会長

平素より日本理学療法士協会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2025年に開催される「第60回日本理学療法学術研修大会」に向けて、会員の皆さんに私からのメッセージを贈らせていただきます。

日本理学療法学術研修大会は、日本全国の理学療法士が一堂に集い、知識ならびに技術を研鑽する、年に一度の貴重な機会です。60回の節目を迎える今回は、World Physiotherapy Congress 2025と連続開催となり、大変意義深いものです。

理学療法の領域は、急速な進化と拡がりを見せています。そして、新たな研究成果や治療法、実践活動も段階的に発表されています。私たちの使命は、国民に対してより良い理学療法を提供することにあります。したがって、私たちは常に自己研鑽を怠らず、新しい情報を学び続けることが求められます。一方、社会的な課題、例えば超高齢社会の深化や医療ニーズの多様化に対して、理学療法士としてどのように対応していくべきか、その答えを見つけ、各々が決断することが求められています。

そのため、本大会のテーマを「総合知を推進する臨床技能-社会的課題の解決を目指す-」としました。「総合知」とは、多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を産むことです。多様な「知」が集うとは、属する組織の「矩」を超え、専門領域の枠にとらわれない多様な「知」が集うことです。今回は、理学療法士のみならず、他の学会・協会のトップランナーもお招きし、さまざまな最新の研究発表や臨床実践に役立つセッションや他職種の最新の知見を直接学べる機会が豊富に用意されており、皆さんが垣根を越えて学び合い、ネットワークを広げる場として本大会が重要な役割を果たすことを確信しています。

「第60回日本理学療法学術研修大会」へ参加することで自身の成長を実感し、安全・安心の確保とWell-beingの最大化に向けた未来像と一緒に描きましょう。また、イノベーションの成果の社会実装に向けた具体的な手段を見出すことで、新たな価値を創出し、地域や社会に貢献する理学療法士として皆さんがさらに輝くことを心より願っております。

ぜひ、東京にご参集ください！

第60回日研、PR動画を公開中です！



<https://www.youtube.com/watch?v=az6t0FgBuAI>





にちけんは充実した 全世代型プログラムを お届けします!

若手・中堅に向けたイメージが強かった“全研”から、“日本”のすべての理学療法に向けた“日研(にちけん)”へ。私達は、コロナ禍を乗り越える過程で苦難を強いられた一方で、世の中の変化の大きさと学びの重要性を再認識し、そしてオンラインやオンデマンドなど学びの多様性を獲得しました。学びは若手・中堅だけのものでもなければ、資源が豊富な地域だけのものではありません。にちけんは、すべての世代を意識したプログラムと学びの柔軟性を通じてすべての会員のみならず、その先にある大切な誰かのために学びを全方位に届けます。



企画コンセプト

Connecting the dots

理学療法に必要な臨床の基盤を押さえながら
日本の理学療法の“今”を捉え
新たな価値創出に向かう培養地としての大会



Time Schedule

タイムスケジュール

5月31日(土)

	17:00	18:00	19:00	20:00
基幹シンポジウム		2 超高齢社会の価値転換に挑む 理学療法士のマスタープラン ～ムーンショット目標7「サステイナブルな医療・介護システムの実現」を見据えて～		
エキスパートセッション (基礎教育セミナー)		1 物理療法の現場実践のポイント 機器の導入交渉～活用まで 2 症例報告のまとめ方 症例報告会の取り組み方		ナイトセッション (ワークショップ) *エクストラ会場のため 希望者のみ参加 *現地開催のみ
コラボレートセッション		1 2040年に向けた 日本の在宅医療の推進 ～世界に冠たる訪問理学療法、訪問作業療法、 訪問言語聴覚療法の治療効果を目指して～ ●厚生労働省 ●日本在宅ケアアライアンス ●地域包括ケア推進病棟協会 ●日本リハビリテーション医学会 2 動物に対する獣医療と 理学療法士の協働の可能性 ①日本動物リハビリテーション学会 ②動物リハビリテーション医療研究所 ③ペットケアサロン VANIMOA ④日本小動物医療センター		
テクニカルセッション (参加型研修： ハンズオンセミナー) *現地開催のみ		1 近未来の運動器理学療法評価の実践 ～動作観察と触診、徒手療法を可視化する!!～ 2 高度急性期の離床・ リハビリテーション 3 下肢装具の理解と 活用のための基本技術		
企画シンポジウム		1 [士会×士会] 何を描き走っているのか ～非常識から創り出す職能活動の新しいカタチ～ 2 [協会×会員] 私たちはどこに向かっているのか ～生涯学習制度が羅針盤になるために～ 3 [養成機関×学生] みんなで考える養成教育の 新しいカタチ ～次世代に向かうために教員ができること、 学生ができること～ *現地開催のみ		

ナイトセッション一覧

- 国際活動ネットワーク
- 国際活動を目指す人のためのつながりの場
- 政治活動ネットワーク
- 市政・県政・国政を目指す人のためのつながりの場
- 起業家ネットワーク
- 社会課題を解決する・起業を目指す人のためのつながりの場
- エキスパートネットワーク
- 臨床研究を職場で実践するための難所と工夫
- ICU でのように立ち回るか
～集中治療部門でのチーム活動の工夫～
- 最高に役に立つ症例検討会の運営方法を探る
- 誰にも言えないマネジメントの悩みに対峙する
- “腕のある理学療法士”になるための取り組み方
- 士会・協会ネットワーク
- 魅力ある士会の活動作りに必要なエッセンス
- Next generation サミット
- 次世代を担う理学療法士と集う・つながる

生涯学習制度の履修付与について

※履修付与の条件は、第60回日研のホームページをご覧ください。

	対面	オンデマンド
認定理学療法士(新規)	◎	◎
認定・専門理学療法士更新	◎	◎
登録理学療法士更新	◎	◎

WPC2025とのコラボレーション企画に参加しよう!

14:00-15:00 基幹シンポジウム1
WPC2025 Joint Session

教育の未来を築くエントリーレベルの理学療法士教育と生涯学習の世界的教育基準
*対面での参加には条件があります。詳しくは第60回日研ホームページをご覧ください。

15:15-16:00 WPC クロージング

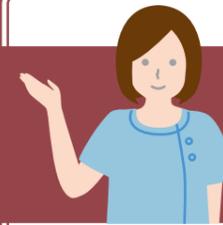
Hall A にて開催している様子を、Hall C にて生中継します。

16:30-17:00 日研開会式

Hall C で続けて開催します。

※プログラムは変更される場合があります。最新情報は第60回日研ホームページをご覧ください。

DAY1



プレ企画とオンデマンド配信を予定しています!

プレ企画とは、全国の次世代人材にスポットライトを当て、小さな活躍の芽を育てるためのオンラインイベントです。

Next generations

～次世代の人材が語る“今わたしが没頭していること”～

全国津々浦々で産声を上げている小さな活動に焦点を当てる本企画。参加者のインスピレーションを刺激するものになると思います。“教えられる”だけじゃない、“お互いに学ぶ”。そんな企画でお待ちしています。

プレ企画



Good 授業グランプリ

「本学の名物授業、人気授業」というテーマで全国の理学療法士養成校所属教員の授業を配信します。学生からの人気の高い授業や各校の特色ある授業や先進的な取り組みを行っている授業など、なかなか受講することの出来ない他校からの選りすぐりの授業を視聴することができます。

学会ハイライト

各学会の次期学会の紹介や、過去の表彰演題、また各領域の最新トピックスなど法人学会の取り組みについて凝縮した形でお届けします。

オンデマンド配信



会場での大会終了後オンデマンド動画の配信を行います。ハンズオンセミナー以外のプログラムはオンデマンドにて受講可能です。

オンデマンドでの参加も登録理学療法士更新ポイント、認定/専門理学療法士更新の点数も取得可能です。



Time Schedule

タイムスケジュール

6月1日(日)

DAY2

公式Instagramを開設しました!
 日研の最新情報は@jpta_nichikenより発信しますので、ぜひフォローをお願いします。
 また、Xのアカウントも近日中に開設予定ですので、こちらもお楽しみに。

公式 Instagram



	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
JPTA 重点セッション	1 産業保健理学療法の社会実装に向けて ① 人間工学者の立場から ④ 産業保健看護の立場から ② 理学療法士の立場から(世界の産業理学療法) ⑤ 理学療法士×人間工学者の立場から ③ 産業医の立場から					2 2040年を見据えた目指すべき急性期リハビリテーション ～新たな地域医療構想と診療報酬改訂を踏まえて～ ① 日本医師会 ③ 全日本病院協会 ② 日本病院会 ④ 厚生労働省			
エキスパートセッション 知と実践 ～学びを臨床に活かし、アップデートする方法～ (講義+演習)	1 呼吸器理学療法					5 循環器理学療法			
	2 高度急性期領域					6 がん関連領域			
	3 運動器理学療法					7 神経理学療法			
エキスパートセッション (ケースディスカッション)	4 (事例検討) エキスパートから学ぶケースディスカッション (神経理学療法)					8 (事例検討) エキスパートから学ぶケースディスカッション (内部障害)			
プロフェッショナルセッション	社会的価値を生み出す～全ライフステージを支える理学療法～ ① 児童発達支援 ③ 両立支援と産業理学療法 ② 学校保健とスクールトレーナー ④ 高齢者の就労支援					2 a basic introduction to OHP: Occupational Health Physiotherapy Practice (産業保健理学療法の実践に関する基礎)			
コラボレートセッション	理学療法未承認領域へのチャレンジ ① 包括的呼吸リハビリテーション (日本呼吸ケアリハビリテーション医学会) ② 遠隔心臓リハビリテーション (日本心臓リハビリテーション学会) ③ 外来でのがんのリハビリテーション (日本がんリハビリテーション研究会)					5 スクールトレーナー (ScT) 制度が創り出す子ども達の未来 ・運動器の健康 ・日本協会 ・日本理学療法士協会			
	地域におけるリハビリテーション 栄養・口腔管理の連携～医療・介護から健康増進 保健予防まで～ (仮) ① 歯科医師の立場から (日本歯科医師会) ③ リハビリテーション科医師の立場から (日本リハビリテーション栄養学会) ② 管理栄養士の立場から (日本栄養士会) ④ 理学療法士の立場から					6 こども子育て支援と女性活躍の推進に向けた連携の可能性～伴走型支援と産前・産後ケアの拡充～ ① こども家庭庁 ③ 日本産婦人科学会 ② 国立成育医療研究センター成育子どもシンクタンク ④ 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会			
エデュケーショナルセッション	1 教育を変革する ① 教育をアイデアで変革する ② 教育をデジタルで変革する ③ 時代に合わせて変革する					2 レジデント制度による理学療法士の育成戦略 ～卒前から始まる一貫した Outcome-Based Education の実現に向けて～			
テクニカルセッション (参加型研修: ハンズオンセミナー) ※現地開催のみ	4 前庭リハビリテーションの基礎と実践～バランス障害・めまい・ふらつきに対して～					7 フィジカルアセスメントの基本技術～視る・聴く・触れるで分かる理学療法の進め方～			
	5 循環器疾患のリスク評価と運動処方～フィジカルアセスメント、フレイル症例検討含む～					8 標準的呼吸理学療法手技の実践			
	6 組織開発と人材育成のための1on1・コーチングのスキル演習					9 人材育成とマネジメントのコアスキル			
								10 脳卒中歩行障害に対する支援技術	

※プログラムは変更される場合があります。最新情報は第60回日研ホームページをご確認ください。

準備委員の皆さんへインタビュー

日研を支えるプロジェクトチームの

声

北海道
ブロック



秋元 健太郎
Akimoto Kentaro

医療法人 漢仁会
札幌漢仁会リハビリテーション病院
リハビリテーション部 副部長

A1. 運営局長

A2. 運営局は主に当日の会場導線の管理や会場内設備をしっかりと活用していただけるようにサポートします。日研では他学会とは異なり厳しい時間管理が必要になり、かつ全国から多数の参加者が見込まれる一大イベントです。安心、安全に研修が受けられるように人員配置したのできっと有意義な時間となることでしょう。疲れていても顔に出さない運営スタッフの表情に注目です(笑)。

A3. 新規で認定理学療法士を目指すだけでなく、全世代型の研修にできるように全国から集まった準備委員が夜な夜な計画した日研。今私たち理学療法士が考えなければならないことを形にしました。ぜひご参加ください。



東北
ブロック



加賀屋 勇気
Kagaya Yuki

秋田県理学療法士会 理事
秋田県立循環器・
脳脊髄センター 機能訓練部 主任

A1. 総務部長

A2. 今回は準備委員が全国から選出されたため、ほぼ初対面の先生方と連携を取ることが最初の課題でした。総務部は事務的な立場上、全体の動きを把握する必要があり、事務局だけでなく企画局会議にも参加するなど、垣根を越えて協力関係を築くことを意識しています(でしゃばり過ぎてたらごめんなさい)。また複数の運営委託業者と連携を図りながら準備を進めています。会議ではさまざまなアイデアが出てきますが、それを実現するためには委託業者とイメージを正確に共有することが大切です。そのために、会議で曖昧な部分を極力残さない、自分自身が企画やシステムに明確なイメージを持って言語化できるようにする、という点を意識しています(すごく難しいですが!)。

A3. 練りに練られた企画ばかりで、私も一参加者として参加したいと思えるプログラムになっています。学会とはまた違った学びと交流ができることは間違いありません!協会60周年というプレミアム感も随所に感じられるような日研にしていきたいと思っておりますので、ぜひご参加ください!東京国際フォーラムにてお待ちしております!

【質問項目】

- Q1 日研における担当を教えてください。
- Q2 担当箇所こだわっているポイント、もしくは、これまでの日研と比較して差別化を図ったポイントはありますか。
- Q3 参加者の皆さんへメッセージをお願いいたします。

2ページでお伝えしたとおり、第60回日研では全国8ブロックから集結した準備委員の皆さんが一丸となり、大会長のもと、ALL JAPANで準備に取り組んでいます。新たな形での挑戦がどのように進んでいるのか、準備委員の皆さんにその思いや準備の裏側を伺いました。

関東甲信越
ブロック



犬飼 康人
Inukai Yasuto

新潟医療福祉大学
理学療法学科 教授

A1. 財務部長と企画局を兼任

A2. 「全世代型プログラム」の理念のもと、幅広い年代の方々が参加しやすい環境を整えました。これまでの日研と比較して参加費を抑えた設定とするとともに、養成校の学生についてはオンデマンド参加を無料としています。これにより、学生が学びの場に積極的にアクセスできる仕組みを実現しました。また、世代を超えた交流や知識の共有を通じて、多様な視点を得られる場としての価値を高めています。幅広い層の参加者がそれぞれに充実した時間を過ごせる大会を目指しています。

A3. 第60回日研では、記念大会にふさわしい多彩で魅力的なプログラムを多数ご用意しております。準備委員会一同、細部にまでこだわり、皆さまにご満足いただける大会を目指して準備を進めております。この大会が、新たな知見や技術を学び、日々の臨床に活かすきっかけとなるとともに、交流や意見交換の場として充実した時間を提供できれば幸いです。ぜひ多くの刺激をお持ち帰りください。

東海北陸
ブロック



山下 裕太郎
Yamashita Yutaro

JA静岡厚生連 遠州病院
リハビリテーション科 技師長

A1. 渉外部長

A2. WPC2025とのコラボ開催、第60回の記念大会として、開会式には20名程度の来賓に加え、140を超える後援を申請し、多くの企業や団体から協賛に加わっていただくようにご案内しています。これまで以上に多くの方々に関わっていただくことで大会を盛り上げるだけでなく、パートナーシップを築くことで今後の理学療法士を取り巻く明るい未来への足がかりにしたいと考えています。

A3. 私たちの活動を支援していただける団体を知り、協賛企業からのメッセージを受け取るとともに業界の最新動向を学び、自身の視野を広げる貴重な機会にしていきたいと思っております。そのような視点も踏まえつつ、記念すべき第60回日研に(WPC2025にも)積極的に関わり、ともに学び合うことで皆さまの今後の活動に大きな影響を与えられる大会にしていきたいと思っております!

準備委員の皆さんへインタビュー

日研を支えるプロジェクトチームの声

近畿
ブロック



岩田 健太郎
Iwata Kentaro

神戸市立医療センター中央市民病院
技師長代行

中国
ブロック



江草 典政
Egusa Norimasa

鳥根大学医学部附属病院
リハビリテーション部 療法士長

四国
ブロック



平島 賢一
Hirashima Kenichi

徳島文理大学 教授

九州
ブロック



竹井 和人
Takei Kazuto

医療福祉専門学校 緑生館
理学療法学科 専任教員

A1. 副準備委員長

A2. 現在、20の法人学会・研究会が存在し、理学療法学の専門性は確実に高まっています。しかし、多くの学会は参加者が1,000人程度にとどまり、2,000人規模の学会でさえ「多い」とされる現状です。とはいえ、20万人を超える理学療法士全体から見ると、わずか1%にも満たない数字であり、非常に限られた参加者にすぎません。私たち理学療法士が真に成長するためには、残る99%の会員が医学の急速な進歩に取り残されることなく、普段触れる機会の少ない分野にも積極的に目を向け、常に最新の知見と多角的な視点を養うことが不可欠です。情報共有を通じて社会課題の解決を図るため、かつての全国学会のように「世代や分野を超えた理学療法士が集い、化学反応が起きる場」を目指します。

A3. 「この研修大会だけは毎年参加すれば、幅広い最新情報が得られる。」そんな会員としてのメリットを実感していただける日研を目指し、その最初の一步となる大会になることを願っております。幅広い分野の最新情報に触れていただくことで、理学療法士としての視野をさらに広げていただければ幸いです。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

A1. 企画局長

A2. 近年では、学会が専門分化しており高度な学術的議論が行えるようになりました。一方で、さまざまな領域の最新情報を一斉にキャッチアップしたり、そこからインスピレーションをもらう機会は少なくなってしまうと感じる会員も一定数いらっしゃると思います。そのような中で、学術大会と研修大会の役割を区別し、この日研が“学びのハブ”となるように企画を設計しています。「総合知」に繋がるようにタテ(世代)とヨコ(領域)を結び「日研に行けば理学療法の今が分かる」そういう将来を目指して企画しました。

A3. 「“にちけん”だけは、職場のみんなで参加しよう」10年後にはそう呼ばれる日本最大のイベントとして定着することを願っています。現地に向かって学び、刺激を受けて仲間と話す。オンデマンドを自宅真剣に視聴したり、家事をしながら流し見したり。にちけんが皆さんの学びの支えになるように準備してまいります。

A1. 事務局長

A2. 今回の準備委員会は、事務局内に総務部、財務部、渉外部、広報部の4部門を設置し、各ブロックから選出された優れた先生方が部長を務めています。私は事務局長として、各部の進捗状況を把握しながら、第54回日研で準備委員長を務めた経験を活かし、事務局内の業務が円滑に進むようサポート役として取り組んでいます。

A3. 本大会は、記念すべき第60回目を迎え、WPC2025と連続開催されるという歴史的な節目となります。このような規模の大会が日本国内で開催される機会は数十年先まで見込めない貴重なものです。斉藤会長が大会長を務める今回の大会では、若手からベテランまで、すべての理学療法士が対象となり、臨床現場で即実践できる内容を重視したプログラムを提供します。また、世代や国境、業界を超えた参加者同士の交流を通じて、知識と経験が融合する「総合知」を体感いただける場でもあります。多くの会員の皆さんにご参加いただき、ともに学び、次世代への架け橋を築いていきましょう。

【質問項目】

- Q1 日研における担当を教えてください。
- Q2 担当箇所こだわっているポイント、もしくは、これまでの日研と比較して差別化を図ったポイントはありますか。
- Q3 参加者の皆さまへメッセージをお願いいたします。



環境に配慮した運営

WPC2025では、これらの取り組みを通じて、環境保護に貢献しています。

- 紙素材の施設内案内表示
- 木製カトラリー
- マイボトルの推奨
- 紙素材のネームプレート
- 持続可能な漁業／養殖認証 (MSC・ASC) を受けた食材



World Physiotherapy Congress 2025



日研×WPC2025 コラボセッション

5月31日(土) 14:00～15:00

「未来の教育を築く：高度人材育成のためのグローバルスタンダード理学療法士エントリーレベルの国際標準化」というテーマでのコラボセッションを予定しています。この機会に、ぜひご参加ください！

・ 会員割引 ・

本会会員は会員限定割引が適用された参加登録費（当日参加登録以外）となっています。アドバンス参加登録の期限は、2025年4月24日です。ぜひ事前にご登録ください。



会員限定コンテンツ 国際事業 World Physiotherapy Congress 2025 (会員限定)

https://www.japanpt.or.jp/privilege/international/world_physiotherapy_congress_2025/

過去最高の演題提出数

WPC2025の演題提出数が合計**3,355**件となり、過去最高を記録しました。これまでの最高提出数は、2011年にオランダのアムステルダムで開催された学会の2,883件でした。演題登録者数が最も多かった国・地域は、日本、アメリカ、オーストラリア、インド、中国で、全部で**101**の国／地域の人々から投稿が寄せられています。

第60回日研と連続開催!

2025年
5月29日(木)～31日(土)
東京国際フォーラム
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

[詳細はこちら]

<https://wp2025.world.physio/>



2025年、日本で26年ぶりに開催される世界理学療法連盟学会が、いよいよ開幕します。世界中の理学療法士が一堂に会し、さまざまな情報を交換できる貴重な機会であり、皆さんにとって学びと交流の場となる重要なイベントです。日本で開催される大会に、ぜひご参加ください！

フォーカスシンポジウム

日本人の講演者を含むフォーカスシンポジウムをご紹介します。

女性の健康：臨床および教育現場に影響を与えるための課題

議長 Sonia Roa-Alcaino (チリ)
講演者 Faizah Abdullah Djawas (インドネシア) / Cristine Homsy Jorge (ブラジル) / Ayako Yamamoto (日本)

集中治療およびそれ以降の身体リハビリテーション試験

議長 Marike van der Schaaf (オランダ)
講演者 Sabrina Eggmann (スイス) / Hajime Katsukawa (日本) / Anastasia Newman (カナダ)

ランニングは関節の健康維持に役立つのか

議長 Jean-Francois Esculier (カナダ)
講演者 Manuela Besomi (オーストラリア) / Yuichi Takata (日本)

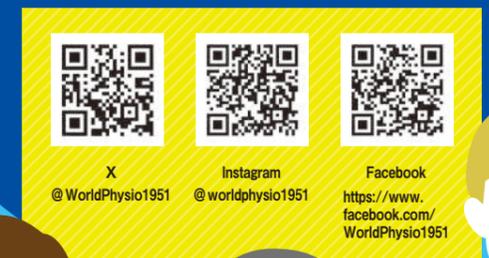
デジタルヘルスとデータ：機会と課題

議長 Mark Merolli (オーストラリア)
講演者 Naoki Akiyoshi (日本) / Corelien Kloek (オランダ) / Felipe Reis (ブラジル)

※実施日時は最終プログラムの発表をお待ちください。

・ SNS ・

XやInstagramで@WorldPhysio1951をぜひフォローしてください！#WorldPhysio2025をつけて、みんなで盛り上げましょう。



X @WorldPhysio1951
Instagram @worldphysio1951
Facebook <https://www.facebook.com/WorldPhysio1951>

Top Message

会長 齊藤 秀之



変革と挑戦の年に向けて

会員の皆さん、2025年も立春を過ぎ、春を感じさせる季節となりました。日頃より本会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年も「理学療法のさらなる発展と社会への貢献」を掲げ、より良い未来の創造に向けて、会員の皆さんとともに取り組んでまいります。

国内外の環境は、依然として大きな変化の中にあります。超高齢社会の予測以上の進展が進む日本では、地域包括ケアシステムの構築や予防医療の推進がますます重要となり、理学療法士の役割も深化・拡大を求められています。また、デジタル技術やAIの活用が急速に進む過程において、理学療法においても新たな技術をどのように取り入れるかが問われています。国際的には、他国との関係が複雑化する中で、グローバルな課題に対応するための準備が必要です。このような状況下で、理学療法士が社会の期待に応え、真の専門職としての地位を確立するためには、政策提言活動がこれまで以上に重要です。

そこで、2025年を「変革と挑戦の年」と位置づけ、理学療法士の社会的価値を高めるための政策提言活動を強化していきます。その中核となるのが、理学療法士の身分法改正の実現です。現在の身分法では、理学療法士の業務範囲や役割が必ずしも社会的な期待に応じたものになっていません。本会は、医療や介護・福祉の現場をはじめさまざまな場面で理学療法士がより大きな責任を果たせるよう、国や関係機関との対話を深め、改正を勝ち取る強い決意を持っています。

さらに、「会員として所属したい、会員で良かった」と実感していただける活動にも注力しなければなりません。具体的には、キャリアアップを支援する生涯学習制度を中心とした研修や会員サービスの拡充、会員同士が交流し支え合うためのネットワーク構築、さらには地域や職域での活動を後押しする取り組みを進めていきます。

理学療法士の価値をより多くの方々に理解していただくためにも、理学療法士の未来を切り拓くためにも、全会員が一丸となって行動することが必要不可欠です。本会は、その先頭に立ち、全力で取り組む所存です。会員一人ひとりが誇りと自信を持ち、社会に貢献できる環境作りを目指して、ともに一歩ずつ前進しましょう。



【大会概要】
日時：2025年5月29日(木)～31日(土)
会場：東京国際フォーラム(東京都)
※第60回日本理学療法学会学術研修大会(2025年5月31日(土)～6月1日(日))と連続開催

Vol. 6



国際担当理事の大工谷副会長からメッセージをいただきました

World Physiotherapy Congress 2025（世界理学療法連盟学会）と第60回日本理学療法学会学術研修大会が東京で連続開催されます。前回の世界理学療法連盟学会の日本開催は1999年の横浜でしたので、実に26年ぶり、次の日本開催はいつになるかわかりません。

私事ですが、1999年の学会では広報と口述発表（2題、うち1題は座長との掛け持ち）という貴重な機会をいただきました。広報では、開会式や講演、富士山ツアーなどを取材し、日刊の広報誌を作成して学会会場で配布しておりました。世界理学療法連盟学会にはさまざまな国・地域からの参加者がいますが、その数は想定以上で、通常では出会えないような国・地域の方々と交流もできる貴重な機会です。英語が話せなくても何とかなりま

す。「寿司」「天ぷら」「ありがとう」という日本語しかご存じない外国の方々も日本語を少し話せると言います。我々は、意外に英語を理解できています。

連続開催の第60回日本理学療法学会学術研修大会では、さまざまな経験年数、背景の方々のお役に立てるよう、企画メンバーをはじめ、準備委員会が日々議論を重ね、準備しています。

これらのイベントは、経験や役職に関係なくすべての会員が主役です。一人ひとりの参加が、大会全体をより充実したものにします。学びを深め、つながりを広げ、理学療法士としての新たな一歩を踏み出す場として、ぜひ活用してください。

理学療法士と政治活動

国政や地方議会で活躍する理学療法士や、連盟を含めいろいろな形で政治活動を行っている理学療法士に登場いただき、業界をとりまくさまざまな課題やその解決に向けた取り組みを紹介いたします。

「もっと多くの方に理学療法士を知ってもらい、笑顔届けたい」そんな思いから政治の道を志し「福島市をナンバーワンの街にする」という信念を胸に、福島市議会議員に立候補をしました。現在は議員としての見方が広がる一方、自分の力不足を痛感する毎日です。私は養成

校を卒業し臨床に研究、そして職能活動をガムシャラにやってきましたし、県理学療法士会理事や協会代議員、県連盟会長を務めた経験から多少の自信はありました。しかし医療介護分野は分かっているつもりでも行財政や農林、教育など多岐にわたる課題への知識やつながりの不足に日々悪戦苦闘しています。そんな中でも、私には大切にしていることがあります。

「一人ひとりの声をしっかり聞いて、その人のために行動すること」そして、良くも悪くも結果を報告し、その人に寄り添い続けることです。このマインドは理学療法士でも政治家でも原点だと思いますし、私にできることだと信じていま

す。最近、うれしいことがありました。野球肘検診に理学療法士として参加をした際、多くの参加者やご家族、指導者から「ありがとう」と感謝の言葉をいただきました。リハビリの現場では日常的な感謝の言葉も、政治の世界では少ないのが現状です。理学療法士はやりがいのある業界であることを改めて感じました。だからこそ、理学療法士の魅力や職域を多くの方に認識してもらえよう活動を今後も続けて行きたいと考えています。「理学療法士サイコー！」みんなから、そう言ってもらえる世界をこれからも作っていきます。



さとう せい
佐藤 勢

1978年5月5日、山形県米沢市生まれ、福島県福島市在住。2009年、山形医療技術専門学校を卒業し、理学療法士国家資格を取得。以降、老健施設において入所・通所リハビリに携わりながら、福島県立医科大学大学院博士課程修了(医学博士)、認定理学療法士(予防)、専門理学療法士(地域・予防・支援工学)を取得。福島県理学療法士連盟会長、日本理学療法士協会代議員。2023年、福島市議会議員に初当選。



宮前 信彦 (みやまえ のぶひこ)

フリーランス (所属なし)

Nobuhiko Miyamae
1952年東京都北区生まれ。1979年社会医学技術学院卒業。同年4月千葉県袖ヶ浦福祉センター療育園入職。1981年4月千葉県千葉リハビリテーションセンター施設統合のため勤務異動。2016年に退職し、現在に至る。専門は小児療育分野(臨床・教育・研究)。1992年～2000年千葉県理学療法士会会長。現在は千葉県理学療法士会相談役として勤務。小児から高齢者まで地域リハビリテーションに携わる。千葉市介護保険認定審査会委員。千葉県介護支援専門員指導者。養成校非常勤講師。

本コーナー「生涯現役」では、生涯現役で活躍する先達から会員の皆さまへメッセージを募集しております。
お問い合わせ先: JPTA NEWS 担当 news@japanpt.or.jp

生涯現役

自分流のセカンドキャリア 自分なりの現役、頑張ります!

27歳で資格取得以来、再雇用を含めて37年間の現役生活にピリオドを打ったのが2016年3月でした。あれから8年が経ち、現在72歳、どこの施設・病院にも所属せずにフリーランス理学療法士として幾つかの仕事に携わっている、自分なりのセカンドキャリアについて紹介させていただきます。退職後をどうするかについて考えましたが、確たる結論に至らず、なるように任せようと考えました。基本は好きなことをする。嫌なことはしない。現役時代は医療・福祉の現場でしたので、嬉しいこと楽しいことが勿論ありましたが、やはり多くの患者様、ご家族の方々に感謝されたことは望外の喜びでした。反面、組織の中でリーダーとしての仕事を任された後は、協働していた多職種との協力関係、上司、部下との意見調整、職員教育、リスク管理等々。キャリアの後半では、度重なる診療報酬改定への対応等々、臨床家の仕事

というより事務調整役に忙殺されていた感もありました。そんな時代に、千葉県理学療法士会活動に関わる中では、何人かの思いを共有する仲間や古くからの友人達との交流が今にして思えば本当にありがたいものでした。内外の多様な方々との信頼関係に基づくつながりの中で、応える仕事も継続しています。まさにご縁があったのでしょう。現在、名刺の肩書は「REHAB CONSULTANT」としています。現役時代の経験を活かし、限られた条件ですが、よろず相談窓口として、自分にできることがある限り、シニアになっても常にブラッシュアップ、アップデートできるよう頑張っています。内緒ですが、リタイヤしてから始めたことが二つあります。一つは孫のピアノレッスンに刺激されて始めた、なかなか上達しないピアノ演奏です。二つ目は60歳から始めたマラソンです。まだまだ自分なりの現役、頑張ります。

コツコツ学ぼう!

登録理学療法士 更新ポイント 問題解答

登録理学療法士の更新ポイントの取得方法の一つに、JPTA NEWSの問題解答があります。全問正解で、1ポイント取得できます!
登録理学療法士の方は、更新資料をご確認のうえ、右記のQRコードを会員専用アプリで読み込んで、ぜひチャレンジしてみてください!



カリキュラムコード 15 理学療法士及び作業療法士法 解答期限は4月19日まで

マイページのセミナー検索画面からも申込可能 (セミナー番号: 130683)、申込期限は「4月18日」です。

※解答完了後、翌日中に履修履歴へ反映されます。

登録理学療法士制度の概要はこちら ▶ <https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/registered/>
コツコツ学ぼう! 登録理学療法士更新ポイントに関するお問い合わせは、**本会ホームページ FAQ**からお願いいたします。

INFORMATION

会員数 143,060名 2025年1月末現在
* 休会者含む

年会費の納入期限は3月31日(月)まで!
クレジットカードは2月下旬決済、口座振替は3月27日引落、引落登録のない方は3月上旬に振込用紙を順次送付します。
異動・休会・復会・退会等はお早めにお手続きください。

マイページのご利用について

ログインID
パスワード(PW)の
再発行

マイページへログインできない場合は、マイページログイン画面下の「ログインできない方はこちら」より、ID・PWの再発行申請をお願いします。
(注) お電話によるID・PWのご照会はありません。
<https://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/mypage/system20002.html>



会員
マイページ専用
アプリのご案内

本会では、会員マイページ専用アプリを提供しています。専用アプリでは、マイページへのオートログインやQRコード読取機能による研修会参加受付が可能になるほか、本会・都道府県理学療法士会からのお知らせがプッシュ通知で受信できます。ぜひ、アプリをダウンロードのうえ、ご活用ください。
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newssystem/>



2025年度年会費納入について

本会では、毎年3月31日までに次年度の年会費を納入いただいています。2月下旬以降、マイページにご登録いただいている決済方法にて請求させていただきますので、期限内の年会費納入にご協力をお願いいたします。
[納入期限] 2025年3月31日(月)
[決済方法] 2月21日時点でマイページにご登録の方法 (クレジットカード払い・口座振替・現金振込のいずれか)

納入状況のご確認・領収書発行はこちら

マイページ ▶ お支払い管理 ▶ お支払い履歴 ▶ 領収書発行
<https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/member/payRecord/confirm>



クラブオフ 今回のおすすめ!

ビックカメラ・コジマ お会計金額3%OFF!



ビックカメラ
コジマ
お会計金額
3%OFF

※ビックカメラ・コジマ全店でご利用いただけます。
※他のクーポン券・キャンペーン・値引き・ポイントプレゼントとの併用はできません。

ご利用の際には、
「日本理学療法士協会 クラブオフ」へ登録・ログインください。
◎その他サービスの詳細はWebで検索



理学療法士協会 クラブオフ 検索

協会運営に関するご案内

●2025年1月11日(土)に第6回理事会、同年2月1日(土)に第6回理事懇談会が開催されました。理事会抄録については、会員限定コンテンツよりご覧ください。

会員限定コンテンツ ▶ 協会運営・資料一覧 ▶ 総会・理事会等資料
<https://www.japanpt.or.jp/privilege/management/minutes/>



●今後の予定
■2025年3月1日(土): 第7回理事会

異動手続きについて

所属施設・自宅住所の変更等の会員登録内容の変更は、本会ホームページの手続案内をご確認のうえ、マイページからお手続きください。

※施設情報の変更は、施設会員代表者または施設会員代表者代理に割り当てられた方が行ってください。【マイページ】⇒【登録内容の変更・確認】⇒【施設情報管理】。
※海外会員に登録される場合は、会費の支払い方法について確認させていただきますので事前に本会事務局へご連絡ください。

理学療法士の方向けサイト ▶ 協会からのお知らせ ▶ 各種手続き ▶ 勤務先・自宅住所・氏名等の変更
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/01/>



休会・退会・復会の手続きについて

会員区分の変更は、本会ホームページにて各種手続きをご確認のうえ、マイページからお手続きください。

※休会を継続する場合、1年ごとの申請が必要です。申請受付期間(1月1日～3月31日)にご申請ください。手続きがない場合は規定により退会となります。
※退会後、生涯学習履歴・取得資格は無効となります。また、納入済みの当年度年会費はご返金いたしかねます。

休会中・退会後は以下の権利が停止となります。

- 各種研修会・学会等への会員価格での参加 (非会員理学療法士と同様の対応となります)
●各種学会への無料での演題登録
●会報誌「JPTA NEWS」の発送
●理学療法士賠償責任保険への加入(全員加入・任意加入)
●福利厚生サービス「クラブオフ」の利用など
●役員候補者選挙および代議員選挙の選挙権、被選挙権

理学療法士の方向けサイト ▶ 協会からのお知らせ ▶ 各種手続き
<https://mypage.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/>



マイページ ▶ 登録内容の変更・確認 ▶ 本人情報の確認・更新
<https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/member/dataChange/confirm>



※Web環境がない場合、手続きについては本会事務局 (TEL: 03-6804-1421) へお問い合わせください。

HOT TOPICS

日本理学療法士協会雑誌 Up to Date NEWS

【第3巻第1号 2月20日発刊!】

今号の特集記事は
「キャリアデザイン」です。

【協会雑誌 問題解答】

全問正解で登録理学療法士の
更新ポイント(1ポイント)が付与されます。

カリキュラムコード 159
スタッフ教育と教育システム

解答期限は
2025年5月19日(月)まで

※会報誌「JPTA NEWS」の問題解答(18ページ掲載)とは別のものです。
雑誌は本会のマイページから閲覧ください。

マイページ ▶ 会員限定コンテンツ ▶ 生涯学習支援 ▶

日本理学療法士協会雑誌 Up to Date

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/lifelonglearning/uptodate/>



2024年度役員候補者選挙実施中

現在、代議員による役員候補者選挙の投票を実施しています(マイページに選挙公報が掲載されているので、会員の皆さんもぜひご覧ください)。

役員候補者選挙後には、当選した役員の中から会長候補者選挙が行われる予定です。順次情報を掲載いたしますので、詳細については本会ホームページをご確認ください。

マイページ ▶ 会員限定コンテンツ ▶ 協会運営・資料一覧 ▶

選挙 ▶ 役員候補者選挙

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/management/election/executives/>



第13回「笑顔をあきらめない。」写真コンテストを開催

「笑顔をあきらめない。」をメインテーマとした、理学療法・理学療法士に関するオリジナリティあふれる写真と作品に関連するエピソード(400字以内)を、医療・介護・スポーツなどさまざまな領域にて幅広く募集します。

最優秀賞(1点) 賞状・賞金5万円

優秀賞(2点) 賞状・賞金3万円

佳作(数点) 賞状・賞金5千円

応募期限：2025年6月10日(火)

たくさんのご応募をお待ちしています。

理学療法の日 ▶ 写真コンテスト

<https://www.japanpt.or.jp/rigakuryohonohi/photocon/13/>



※前回受賞作品



マイページ(会員限定コンテンツ)
へのアクセスはこちらから。

※会報誌バックナンバーもご覧いただけます。

※紙媒体の会報誌が届いていない方はHPお問合せ
よりご連絡ください。

JPTA-Topics > 会報誌「JPTA NEWS」 > バックナンバー



Click!

Click!



公益社団法人

日本理学療法士協会

JPTA Japanese Physical Therapy Association

公益社団法人 日本理学療法士協会会報誌 号数：No.353

発行日：2025年2月20日

発行人：公益社団法人 日本理学療法士協会

〒106-0032 東京都港区六本木七丁目11番10号

TEL：03-5843-1747 FAX：03-5843-1748

代表：斉藤秀之

編集：日本理学療法士協会 事務局

本会HP：<https://www.japanpt.or.jp>

HPへアクセス

